
中番外編 トーク中

しら

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

IJのPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

中番外編 トーケン

【ツード】

【作者名】

51

【あらすじ】スマプラメンバーと一緒にトーケーク！

説明（前書き）

新小説です宜しくお願いします。

趣説明

この小説は私作者であるしらとスマブラメンバーが一対一でトークを繰り広げ構成する小説となっています。

スマブラメンバーはマリオ、ルイージ、クッパ、アイスクライマー等のスマブラのメンバーは勿論ロイ、ミュウツー、ピチュー等のいわゆるリストラメンバーとされているメンバーも登場させる予定です。

更にリクエストがあれば他のゲーム、アニメ等のキャラも登場させることができます。

しかしこれは番外編なので更新はスマブラ 中の方がメインです。

ご了承ください。

趣説明（後書き）

最初のゲストはマリオです。

マコオ編（前書き）

本編スタートです。

マリオ編

パチパチ

しら「始まりましたーーク中ー最初のゲストはこの人！」

プシュー

二酸化炭素ガスが出てゲスト登場

しら「今回のゲストはマリオです！」

マリオ「宜しくお願ひしますー！」

しら「では座つてー！」

マリオ「行きなりため口になつたーーー！」

しら「氣をとりなおして今回のゲストはマリオですー！」

マリオ「宜しくお願ひしますー！」

しら「まず僕の作品でのマリオ自身の扱いはどうですか？」

マリオ「基本的な扱いはトップクラスですがひとつだけ不満が有ります。」

しら「それは何？」

マリオ「僕の事悪く書きすぎです！」

しら「とこりど？」

マリオ「金でつられるとか、金が絡まないとどうにいかないとかわ
たしはそんなひどくない！」

しら「あつやうなんだ！」

マリオ「は」やうですね。」

しら「一気に話を変えますが好きな食べ物はなんですか？」

マリオ「きのこ入りカレーライスです。」

しら「成る程では嫌いな食べ物は？」

マリオ「きのこです。」

しら「えっなんかおかしくないですか？きのこ入りカレーライスは
好きなのにきのこが嫌いってしかむpeeチ姫を助けるときにきのこ
食べますよね？そのときにどうするのですか？」

マリオ「はいあのきのこは美味しいです！」

しら「やつぱりなんかおかしいまあいいやー最後にマリオにとつて
スマーフラメンバーとは？」

マリオ「大切な仲間でありライバルです！」

じり「わかりました！今回のゲストはマリオでした。」

マコオ編（後書き）

これから質問を募集します。
どうぞ送ってください。

ルイージ編（前書き）

今回はルイージです。

ルイージ編

しら「さあー一回田のトーク中ー今回のゲストは」の入ー」

プシュー

二酸化炭素ガスが出てきた！

しら「今回のゲストはルイージです。」

ルイージ「宜しくお願ひします。」

しら「では質問です。ルイージは永遠の2番手といわれていますね？」

ルイージ「うん。」

しら「その事についてどう思ひつづく？」

ルイージ「一番手といわれて嬉しいわけないんですけどー。」

しら「そりゃなんだけど今回も一番手だよー。」

ルイージ「それ狙つたよね？」

しら「勿論だー。」

ルイージ「それはひどこよー。」

しり「続いての質問です」

ルイージ「話変えないでよー。」

しり「自分の兄であるマコオの中の行動どう思つ?。」

ルイージ「ひどこよー。」

しり「どうしたところが?。」

ルイージ「まず前の逃走中で僕を裏切った事、最近の逃走中でお金につけられたこと、攻防中でリタイヤしたこと等あるかな?」

しり「ルイージも攻防中で離脱したよね?」

ルイージ「そうだねー!イベントでだけど。」

しり「まあ次の質問いくねー。」

ルイージ「うん。」

しり「ルイージ本人の僕の作品での扱いはどう思つ?。」

ルイージ「最高にいいよー。」

しり「どんなところが?」

ルイージ「まず皆勤賞僕だけだしー!全てで地味に賞金獲得しているからー。」

しら「成る程では最後の質問だよ！」

ルイージ「早いな！」

しら「ルイージにとってスマブラメンバーとは何？」

ルイージ「大切な仲間かな？」

しら「ありがとうルイージ」

ルイージ「ありがとうございました。」

しら「以上トーキ中ルイージ編でした。」

パチパチパチパチパチ

ルイージ編（後書き）

質問提案宜しくお願ひします。

アンキー編（複数形）

今回は「ダメ」トヤーだよ」と思こまか。

ドンキー編

しら「早くも期待されていないかもしませんが三回目です！今回
のゲストはこの人」

プシュー

やつぱり一酸化炭素ガスが出てきた！

「今日はデンキーです！」

しらー不味い何いつているかわからぬい！」

「今度は、アーティクルの中のトーカーが、なぜかアーティクルのトーカーにならなくなってしまったのです。」

「それではまた次回お会いしましょー。」

ドンキー編（後書き）

アドバイスお願いします。

第4回（前書き）

悪役登場です。

第4回

しら「トーク中です。今回のゲストはこの人ー。」

プシュー

ドスンドスン

偉いおとをたてて来るゲスト。

しら「今回のゲストはクッパさんです。」

クッパ「宜しくなのだー！」

しら「早速質問するよー。」

クッパ「わかつたのだー！」

しら「マリオについてどう思つ？ー。」

クッパ「ライバルなのだー！」

しら「そつなんだー！けど毎回倒されているよね？」

クッパ「そつなのだー！そろそろ勝ちたいのだー！」

しら「そつなんだー！クッパ自身の扱いはどう思つ？ー。」

クッパ「いいと想つが。」

しら「思ひがなんでしょう?」

クッパ「我輩は自首なんてしたくないのだ!しかし最近毎回自首なのだ!」

しら「嫌だったの?それならこつてよー!」

クッパ「今度から気を付けるのだぞ!」

しら「わかりました。クッパは仲間思いといふことが言われてます
が本当?」

クッパ「勿論なのだ!仲間有つての我輩なのだ!」

しら「いい」と言ひね!..

クッパ「ありがとうなのだ!」

しら「では最後にクッパにとってスマブラメンバーとは

クッパ「切つても切れない絆で結ばれている仲間なのだ!」

しら「わかりました!ありがとうクッパ!」

クッパ「我輩こそなのだ!」

第4回（後書き）

感想等待っています。

第5回（前書き）

五回目です。

第5回

しら「トーク中です。今回のゲストはこの人!」

ブシュー

メタナイト「宜しく頼む。」

しら：今回のゲストはメタカイトさんです。

メタナト・ゼニテ

お願いがあるにどいしかな

ノミノヒ

卷之三

いいよ」と言つたしやないですか!」

フタナイト 分かりたよ

觀客「キヤー」

ス
ポ
ツ

卷之二

メタナイト「恥ずかしい！」

しら「最初の質問です。」

メタナイト「わかつた。」

しら「 中で嬉しかったことは？」

メタナイト「賞金獲得できたこととか、デデデ様に助けてもらつたことかな。」

しら「助けてもらつたとは？」

メタナイト「逃走中の時に追われていた私にあつたとき一回しか使えない能力をわざわざ使つてくれて助けてくれたことだ。」

しら「そつなんだ！じゃあカービィはどうゆうつ？？」

メタナイト「いいライバルだなあ。」

しら「そつなんだ！じゃあスマブラメンバーとはなんですか？」

メタナイト「そりゃ大事な仲間だろ！」

しら「わかつた！今回のゲストメタナイトでした！」

メタナイト「ありがとー！」

パチパチ

第5回（後書き）

次は第6回です。

第6回（前書き）

久しぶりの更新です。

第6回

しら「久しづのトーク中、今回のゲストは」の人ー。」

プシュー

しら「今回のゲストはペーちゃんですー。」

ペーちゃん「どうして
どうしたの緊張してない?」

しら「あつわかりますか?」

ペーちゃん「わかるわ、ビーフしたの?」

しら「実は僕女性と話すの苦手なんですよー。」

ペーちゃん「へえそつなんだ男性、女性を気にせずに普通にしてればいいのよ。」

しら「やつります。では早速質問します。」

ペーちゃん「本当にこだわりなのね。」

しら「マコオヒルイージビリカとこえぱどりがタイプですか?」

ペーちゃん「そんなの決まってこるじゃないの。」

しら「ありがとうございます、マコオですよね?。」

ピーチ「なにについている? ルイージに決まっていぬじやないの...」

しら「えつ、H-----」

ピーチ「驚きすぎよーもしかして文字稼ぎ?」

しら「いや、違いますかなり驚きました。けどなゼルイージなんですか?」

ピーチ「だつてマリオは助けてはくれるけど他にいとこはない。
けどルイージは仲間思いで、皆を大切にしてるし、家事もできる
し、中でえらい稼いでいるから財力も半端ない。まさにいいと
こ尽くしつて説。」

しら「なるほど、では次の質問です。スマブラ 中で印象に残つたのはありますか?」

ピーチ「ないわ!」

しら「そうですか? では最後の質問です。ピーチさんさんにつつて
スマブラメンバーとは」

ピーチ「ライバルかな?」

しら「分かりました! 今回のゲストはピーチさんでした。」

ピーチ「うわげんよ!」

パチパチ

第6回（後書き）

コメント待っています。

第7回（前書き）

第7回のトーク中です。

第7回

しら「7回目のトーク中今回のゲストはこの人！」

プシュー

ポポ、ナナ「こんにちは！」

しら「今回のゲストはアイスクライマーです。」

ポポ、ナナ「宜しくお願ひします。」

しら、「何でペアで出でているの？これ一対一でトークを行つといふ小説だよ。」

ポポ「アイスクライマーは一人で一人ですから。」

ナナ「そうですよ！だから認めてください！」

しら「分かりました。今回ば一対一ではなく一対二でトーク中をしましょう。」

ポポ「イエーイー！」

ナナ「ありがとうございます。」

しら「では最初の質問ね。いつ一人はあつたの？」

ポポ「合コンで出会つて一人とも一日惚れしたの。」

ՀԱՅԱՍՏԱՆԻ ՀԱՆՐԱՊԵՏՈՒԹՅՈՒՆ

ナナ「嘘はいけないよポポ、同じ大学だつたから知り合つたんじゃ
ない?」

ボボ
ナナ
五歳

しら「じゃあ大学生じゃないよね！幼稚園若しくは小学生だよね？」

ボボーあれ、はれた?」

ナナ一実は双子です！」

「あれから驚いたよ。」

しら「御免、御免じゃ次の質問だよースマブラメンバーで一番信頼できるのは誰?」

「ルイージかな？」

ナナ「私も！」

しら「それは何でかな？」

ポポ「仲間思いだし、何だかんだで色々皆がピンチの時助けてくれるから！」

ナナ「私も！」

しら「逆にスマブラメンバーで一番信頼できないのは誰？」

ポポ「マリオかな？」

ナナ「同じく！」

しら「何でかな？」

ポポ「弟のルイージを裏切つたり攻防中で裏切つたりしているから！」

ナナ「やはり同じく！」

しら「じゃあ最後の質問あなたに取つてスマブラメンバーとは？」

ポポ「大切な仲間です！」

ナナ「信頼できる仲間です！」

しら「ありがとうございました、アイスクライマーの一人！」

ポポ、ナナ「ありがとうございました！」

しら「今回のゲストはアイスクリイマーでした。次回のゲストはだ
れか？次回をお楽しみに」

第7回（後書き）

感想、評価待つてます。

第8回（前書き）

かなり酷いです。

第8回

しら「トーク中です。今回のゲストは」の人…」

プシュー

ワリオ「来てやつたぞ…」

しら「今回のゲストはワリオだ…」

ワリオ「おい…なぜ今回だけですじゃないんだ！」

しら「だつてゼウセ質問の時ため口だもん…やつてもい見ないでしょ…」

ワリオ「まあそそうだな。」

しら「じゃあ最初の質問何故きたの？」

ワリオ「おまえが呼んだからだろ？が…」

しら「あれおかしいな？そんな見えないけどな？」

ワリオ「嘘いえ…おまえ今日失礼だぞ…」

しら「何何怒つているの？失礼じゃないよ…いつもと回りじだよ…」

ワリオ「同じじやね…少なくとも何故きたの？は聞かねーだろ…」

しり「めんどくさいから次の質問ね！ワリオにとつてスマッシュメンバートー？」

ワリオ「俺のしもべ！」

しり「じゅ終わつます！」

わ

第8回（後書き）

質問、リクエストメンバー待っています！

宜しくお願いします。

第9回（前書き）

今日は剣士です

第9回

しら「トーク中です！今回のゲストはこの人…」

プシュー

リンク「宜しくお願ひします！」

しら「今回のゲストはリンクさんです…」

リンク「どうも…」

しら「まず最初の質問するね…」

リンク「はい分かりました！」

しら「何故今回ゲストとして呼ばれたかわかる？」

リンク「うーん？わかりません。」

しら「トーク中を書く」ことを決意させてくれた作者さんがいてその作者さんが感想を送つてくれて、剣士の中から一人見てみたいと来て、剣士の中からでやつたことのあるゲームは、ゼルダの伝説しかなかったからそのゼルダの伝説のキャラリンクにしたってわけ。

リンク「なるほど…よくわかったよ…」

しら「次の質問するよ…」

リンク「分かりました！」

しら「スマブラメンバーのなかで一番信頼出来るメンバー誰？」

リンク「うーん？ 頼れるメンバーばかりですかね！ けど強いて言うなら、ルイージかな？」

しら「何でかな？」

リンク「仲間思いで、家事も出来る、怖がりで小心者に見えるけどピンチの時助けてくれる。『』とこうときに便利になる存在だからです。」

しら「なるほどー。じゃあ次の質問ねー！」

リンク「はーー！」

しら「逆にスマブラメンバーの中で一番信頼出来ないのは誰？」

リンク「ワリオに決まってるじゃないですかー！」

しら「何故ですか？」

リンク「スマブラメンバーのことじもべつていつているからです。」

しら「もしかして前回のトーク中見たの？」

リンク「勿論ですよー。スマブラ界ではかなり人気ですからねー！」

しら「そうなのー？」

リンク「はいー。」

しら「見ていたといひ」とは 中でも説明したしもべの件かな?」

リンク「その通りですー。」

しら「わかつたよーじゃあ最後の質問ねー!」

リンク「もうですか?なんか悲しいですね。」

しら「リンクにとってスマップラメンバーとはー。」

リンク「切磋琢磨しあえるライバルそしてよー仲間ですー!」

しら「リンクありがとひね。楽しかったよー。」

リンク「此方」ありがとうございました!」

しら「今回のゲストはリンクさんでしたー!」

パチパチ

第9回（後書き）

次回10回目です！

感想、評価宜しくお願いします！

第10回（前書き）

始めです

第10回

「トーク中です。今日は10回記念として思考を凝らした特別企画です。それでは今回のゲストはこの人!」

プシュー

マリオ「1回目!」

ルイージ「宜しくお願いします!」

「今回のゲストはマリオブラザーズのマリオ、ルイージさんです!」

マリオ「今日はどんな企画だ?」

「スマブラメンバー10人に聞いたマリオブラザーズイメージチェックだよ。」

ルイージ「それ面白そうだけどなんか怖いな。」

「このチェックを使ってゲームをするよ!」

マリオ「どんなゲームだ?」

ルイージ「密観中だよ!」

ルイージ「どんなルールかな?」

しら「10人のスマプラメンバーに五つの質問をしたからマリオ、ルイージの順に交互に一回ずつ質問を選んでもらうよー。」

マリオ「なるほど、それで?」

しら「自分の選んだ質問の得票数の合計を争つよー。」

ルイージ「面白そう!」

しら「勝つた方が得票数×10000を獲得できるよ!けど負けた方はバツゲームがあるよ。引き分けだつたら両方賞金獲得できるけど両方バツゲームがあるから気を付けてね。」

マリオ「バツゲームってなんだ?」

しら「それはお楽しみだよ!」

ルイージ「全然楽しみじゃないよ!怖いよ!」

しら「じゃあした質問の一覧を見てもらうつよー。」

女性キャラ10人に聞いた結婚するならどっち?

男性キャラ10人に聞いた自分が女性なら付き合つとしたらどっち?

メンバー10人に聞いたいい人はどっち?

メンバー10人に聞いたこの小説で好感度高いのはどっち?

メンバー10人に聞いた堅実なのはどっち?

しら「この丑つだよー！」

マリオ「以外と真面目だなー。」

しら「失礼なーいつも真面目だよー。」

マリオ「やうか？」

しら「うんーそうだよーじゃあゲーム始めるねー。」

マリオ、ルイージ「イエーイー！」

しら「じゃあマリオからー！」

マリオ「女性キャラ10人に聞いた結婚するなりどつち？にするー。」

しら「わかったーじゃあどうぞ見てねー。」

1 2 3

スタート

ピーチ「ルイージでー。」

マリオ「ストップー！」

動画が止まつた

しら「どうした？」

マリオ「これまじのやつか！編集していないか！」

しら「まじのやつだよ..」

マリオ「そんな！」

マリオはショックを受けている。

しら「気をとりなおしてどうぞ..」

1 2 3

サムス「勿論ルイージだよ！」

ゼロスースサムス「ルイージね！」

マリオ「ストップ！」

しら「今度は何？」

マリオ「サムスとゼロスースサムスは同一人物だよな？」

しら「いや別人だよ！」

マリオ「スースとっただけだろ！」

しら「いやちがつ容姿が全然ちがつ。」

「マリオ」それは素顔が見えているのと、見えていないの違いだけだよね！」

しら「はいはい、次いくよー。」

1 2 3

キヤサリン「ルイージに決まってるじゃないのー。」

マリオ、ルイージ「ストップ！」

しら「何？」

マリオ「キヤサリンはスマブラメンバーじゃないぞー。」

ルイージ「しかもキヤサリン男だしー。」

しら「ちっちゃいことは気にするなー。もはいの質問の得票数教えるね、ルイージー〇票。」

ルイージ「やったーー！」

しら「じゃあルイージ選んでー。」

ルイージ「じゃあスマブラメンバー10人に聞いたお金に堅実な

はどういち?ににする!」

その結果は勿論

しら「10対0でルイージのかち!」

ルイージ「やつたー!」

しら「マリオ選んで!」

マリオ「いい人はどういち?にする!」

しら「わかりました!」

しかし実の弟ルイージを裏切った時点でいい人と思われるわけない
という訳で

しら「10対0でルイージのかち!」

マリオ「負け確定だ!」

しら「じゃあルイージ最後選んで!」

ルイージ「好感度高いのはどういち?にする!」

しら「わかった!」

マリオはルイージを裏切った時点で好感度が高いわけなく

しら「10対0でルイージのかち!」

ルイージ「イエーイ！」

しら「最終的に20対0でルイージのかちー！」

ルイージ20万円獲得

ルイージ「嬉しいな！」

マリオ「バツゲームってなんだ？」

しら「ピカチュウの雷を受けてもひつよー！」

マリオ「こえ」

ピカーン

マリオ「怖かつた！」

しら「マリオ、ルイージどうだった？」

マリオ、ルイージ「楽しかったです！」

しら「今回のゲストはマリオブラザーズのマリオ、ルイージでした！」

パチパチパチ

第10回（後書き）

次回は普通のトークです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7707x/>

中番外編 トーグ中

2011年11月20日02時08分発行